

寄附・寄贈者芳名（8月1日～9月30日） 御寄附・御寄贈いただき、誠にありがとうございました。

沖縄ガス株式会社様(8.25)



【写真左から3番目】
沖縄ガス株式会社
専務取締役 原國 政人 様
【写真左から2番目】
沖縄ガス株式会社
総務部 部長 福村 嗣一 様
【写真左から1番目】
沖縄ガス株式会社
総務部総務課 課長 諸喜田 誠 様
【写真右から2番目】
本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1番目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治

JTB 協定旅館ホテル連盟沖縄支部連合会様・
JTB レキオス会様(9.12)



【写真左】
JTB 協定旅館ホテル連盟
沖縄支部連合会
会長 平良 朝敬 様
【写真右】
本会 事務局 局長 高良 正樹

琉球物流株式会社様(9.2)



【写真左から2番目】
琉球物流株式会社
代表取締役社長 金城 樹 様
【写真左から1番目】
琉球物流株式会社
取締役総務部長 上原 判 様
【写真右から2番目】
本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1番目】
沖縄県母子寡婦福祉連合会
副会長 生田 加代子 様

一般財団法人
那覇市垣花奉頌会様(9.18)



【写真左から2番目】
一般財団法人那覇市垣花奉頌会
理事長 渡嘉敷 義浩 様
【写真左から1番目】
一般財団法人那覇市垣花奉頌会
事務局 平良 諒雄 様
【写真右から1番目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治

合資会社沖縄実業様(9.9)



【写真左から2番目】
合資会社沖縄実業
専務 宮里 研作 様
【写真左から1番目】
合資会社沖縄実業
総務部次長 国場 隆志 様
【写真右から3番目】
沖縄県保健医療介護部
部長 糸数 公 様
【写真右から2番目】
本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1番目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治

一般社団法人沖縄県軍用地等
地主会連合会様(9.19)



【写真前列左から4番目】
一般社団法人沖縄県軍用地等
地主会連合会
会長 照屋 清秀 様
【写真前列右から3番目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治

福山商事株式会社様(9.30)



【写真左から2番目】
福山商事株式会社
取締役 宮城 亨 様
【写真左から1番目】
福山商事株式会社
紙業部 部長 上里 安徽 様
【写真右から2番目】
本会 会長 湧川 昌秀
【写真右から1番目】
本会 常務理事 嘉陽 孝治

写真掲載以外の
寄附・寄贈者芳名

9/1 沖縄タオル工業株式会社 様
(代表取締役 東風平 朝秀 様)

※本会への寄附については、
税制上の優遇措置が受けら
れます。
詳しくは総務企画部まで

「第24回芸能チャリティ公演」を開催します！

令和7年12月14日(日)に沖縄コンベンションセンター劇場棟にて、「第24回芸能チャリティ公演」を開催いたします。

県内一流の芸能家有志によるご奉仕並びに斯業発展に賛同される方々のご協力を得て、本公演を開催し、県内の社会福祉の増進に尽力いたします。

琉舞や八重山舞踊、日舞、フラダンスなどの様々な踊りのほか、民謡や器楽演奏等々、多彩なプログラムをご用意して、皆様のご来場をお待ちしております。

日 時 令和7年12月14日(日) 14時開演(13時30分開場)
会 場 沖縄コンベンションセンター劇場棟
入場券 前売り券 1枚 1,500円(子ども500円)
当日券 1枚 2,000円(子ども500円)

※子ども料金は中学生まで(膝上で鑑賞されるお子様は無料です)
※前売り券のお求めは、沖縄県社会福祉協議会(TEL:098-887-2000)
までお問い合わせください。

表紙の作品

作品名
「比地大滝」



作成者
宮平美智子さん

中学校教諭としてご活躍されていた宮平美智子さん(77歳)定年退職後の人生を考え始めた頃、義弟から油絵に用いる道具一式を譲り受けた事がきっかけとなり独学で油絵を始めました。

今回の作品は、10月頃の比地大滝を描いており、思い入れのある大切な1枚だと話す美智子さん「まだ小さかった息子たちを連れて遊びに行った時の楽しくて幸せな記憶を絵に残したいと思って」と優しく微笑んでくれました。

油絵以外にも、庭づくりやパッチワークなどにも打ち込まれており、どれも独学で身に付けられたと知り驚嘆しました。好きなことに打ち込んでいる今が幸せで、家族や友人たちの応援、かりゆし美術展など発表する場がある事が励みになっているといいます。

恩師から送られた【1日でも多く生きて毎日1歩前進せよ】との言葉が道しるべとなって今もなお美智子さんを支えています。これからもずっと描き続けたいと語る美智子さんの更なるご活躍をお祈りしております。

社会福祉ライブラリーから

本の紹介

うみとりくの
からだのはなし

(性とからだの絵本)
著：遠見才希子 出版社：童心社

ふたごのうみとりくは、そっくりだけど、ぜんぜんちがう。りくはお母さんになでられるのが好きだけど、うみはなでられるのが苦手…。そんな2人と一緒に、みんながそれぞれのからだを大切にするためには、どうしたらよいか、なかなか話しあうのが難しいからだの話を、やさしいシンプルなこどばで考えます。りくのからだはりくのもの。うみのからだはうみのもの。学校や、ご家庭で、だいじなからだについて考えるきっかけになる一冊です。

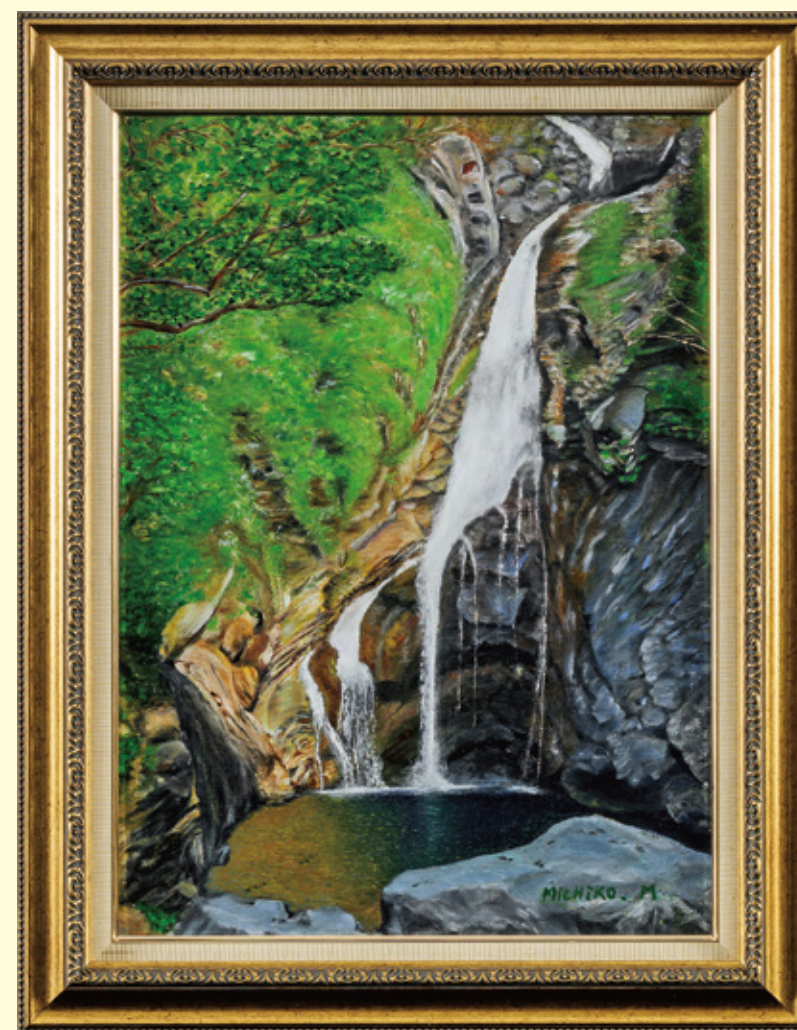


福祉情報

おきなわ

Vol.

224
2025.11.1



作品名：「比地大滝」(第15回かりゆし美術展 洋画の部 奨励賞)
作成者：宮平 美智子 さん(南城市)

目次

- 2 <<特集>> 社会福祉法人経営者協議会会員法人の地域における公益的な取組事業のご紹介
- 4 ディズニーに学ぶ魅力ある職場づくりセミナー開催！／福祉のしごと求人事業所応援セミナー
- 5 児童養護施設退所者等自立支援資金のご紹介
- 6 福祉サービスに関する苦情解決セミナー
- 受講生募集中／犯罪をした方やそのご家族からの地域生活に関する電話相談

- 7 沖縄県社会福祉協議会かりゆし長寿大学校大運動会 開催！ 他
- 8 宮古島市連絡会パニパニ☆ミーティング 2025 / THANKS(サンクス)運動 県民福祉講演会
- 9 私たち「新人職員」です！(沖縄県社協の職員紹介)
- 10 令和7年度共同募金運動が始まりました！他
- 12 寄附者芳名、表紙の作者のご紹介 他

広報誌「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部に共同募金配分金を活用しております。

編集・発行

沖縄県社会福祉協議会
沖縄県共同募金会

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1(県総合福祉センター内)
tel.098-887-2000 fax.098-887-2024 www.okishakyo.or.jp
制作／株式会社スイッチ



社会福祉法人経営者協議会会員法人の 地域における公益的な取組事業のご紹介

【社会福祉法人における公益的な取組とは】 社会福祉法人は、地域における高齢者、障がいのある方、子どもたちなど、支援を必要とする方々への福祉サービスを提供することを主な使命としています。また、それと同時に地域社会の一員として、すべての住民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりに貢献することも、社会福祉法人の大切な役割です。そのために、法人の資源や専門性を活かし、既存の制度やサービスの対象となる地域の生活福祉の課題に向き合う「公益的な取組み」を積極的に行っています。

地域の福祉を支える“公益的な取組”

今回は、県内で特徴的な活動を行っている2つの施設を訪ねました。
今号では、今帰仁村の乙羽園による「朝ごはん給食事業」をお届けします。

特別養護老人ホーム
乙羽園
(今帰仁村)の取組

やさしい笑顔の「おはよう」で始まる月曜日！ ～地域で子育て 愛情たっぷり朝ごはん給食事業～

【事業概要】 今帰仁小学校の児童を対象に、朝ごはんの提供を通じて、児童生徒の健全な成長と心の安定・社会とのつながりを育むことを目的に令和6年10月から実施。乙羽園の調理員が自施設の厨房にて調理し、今帰仁小学校家庭科室にて食事提供しています。毎週月曜日の7時30分から8時に実施しています。(祝日や学校が休みの時は休止)



※以下写真の掲載にあたっては、保護者の方より許可を得ております。

きっかけは、関係者の日常の会話から

乙羽園・栄養管理課長の山城さんは、勤続15年を迎えた頃、我が子の通う学校で、保護者や先生、そして子どもたち自身から「朝ごはん」に関する悩みの声を耳にするようになりました。たとえば、子ども同士の会話では「〇〇ちゃん、朝ごはん食べた?」「うん、寝てたから食べてない」といったやりとりがあり、保護者からは「つい菓子パンに頼ってしまう」、先生からは「午前中からフラフラしている子がいる」といった声も聞かれました。

こうした日常の中で、山城さんは成長期の子どもたちにとって朝食欠食がもたらす影響の大きさを痛感し、「地域で子育てを支える仕組みが必要だ」との想いが芽生えました。

葛藤と決断

「朝食提供の支援がしたい」その想いが強くなる一方で、自身の家庭や生活を思うと一人でできることには限界がある。だけど、「誰かがやらないといけない」「仕事との二足のわらじで出来るのか」「仕事を辞めてでもやるしかない」などの葛藤に悩まされました。そんな中、意を決して職場の理事長に「想い」を相談したところ「**辞めることはない。むしろ素晴らしいことだ。これから私たちの法人が成長していくためにも必要なことだと思う。新しい事業として、やりたいように進めてみなさい。**」その言葉に背中を押された山城さんは、すぐに行動を開始しました。



▲児童に味噌汁を配る調理師さん



▲月曜日からにこにこの児童



▲ある月曜日の朝ごはん

視察と準備、そして一歩目

令和6年2月、早速朝ごはん給食事業を実施している大阪市や泉佐野市の福祉施設を視察。現地の職員や学校関係者と直接話し、制度や運営方法を学びながら「沖縄でもできる」と確信を得ました。調査結果をもとに今帰仁村の小中高の校長先生らの会議でプレゼンを行いました。

令和6年10月から今帰仁小学校で「朝ごはん給食事業」がスタート。

希望制・無料で提供される朝食は、子どもたちの新しい朝の習慣となっています。

先生も一緒に食べる、つながる朝

この事業では、先生も一緒に朝食をとることで、子どもたちの様子を自然に把握できるよう工夫されています。なんらかのサポートが必要な児童も参加しやすくなるよう配慮されており、村議員、学童保育職員、図書館職員など、地域の多様な人々が協力しています。



子どもたちの変化と声

「朝ごはんが楽しみで早く学校に来たかった!」「おいしいからずっと食べたい!」と笑顔で話す子どもたち。先生方からも「朝早く登校する子が増えています」との声があり、遅刻する児童の減少にもつながっています。コロナ禍で希薄になっていた“つながり”を取り戻す場にもなっていると感じられます。

課題と挑戦、そして継続への想い

調理員の人員不足や物価高騰といった課題に対し、地元農家から規格外野菜を購入したり、フードバンクを活用するなど、持続可能な方法を模索中です。
令和7年度は、独立行政法人福祉医療機構(WAM)「こどもの未来応援基金」の助成が内定しており、事業継続が可能となりましたが、今後は法人として予算を確保する体制づくりが求められています。

「まくとぅそーけーなんくるないさ」の心で

実際に朝ごはん給食事業の取材で参加させていただきました。眠そうな表情や元気のない顔で登校してきた子ども達が、朝ごはんを食べた後には、にこにこ教室へ向かっている姿が印象的でした。また、スタッフの皆様の「おはよう」や「いってらっしゃい」「休みの日は何したの?」等の声掛けがとても温かく、些細な会話も子ども達にとっては、「ぬちぐすい(命の薬)」だなということを実際に目で見て体感しました。一緒に参加している保護者も「この事業のおかげで助かっていますし、今帰仁村は、とても子育てしやすいですよ」と話しており、親にとっても子育ての悩みを話せる場所になり、地域の支え合いを実感しました。

山城さんの信念でもある沖縄の言葉「まくとぅそーけーなんくるないさ(正しいことを続けていれば、道は開ける)」のように、この朝ごはん給食事業が、地域の子どもたちの未来を支える“まくとぅ”となることを願い、今後、今帰仁村で安心して子育てができる未来が開けるよう、山城さんは子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、目の前の一つひとつの課題に真摯に向き合い、着実に歩みを進めています。(取材：施設団体福祉部 新垣)



特別養護老人ホーム乙羽園(おとわえん)

沖縄県今帰仁村の自然豊かな天底地区にある介護福祉施設です。1987年の開設以来、社会福祉法人乙羽会が運営し、要介護3以上の高齢者を対象に、日常生活の支援から看取り介護までを提供しています。季節の行事や地域との交流も大切にしており、利用者が安心して穏やかに暮らせる環境づくりを心がけています。人と人とのつながりを大切にしながら、地域福祉の一端を担う施設として、日々の暮らしに寄り添った支援を続けています。

“まくとぅそーけーなんくるないさ”の心で、地域の未来を支える乙羽園の挑戦。
誰かの「やってみよう」が、地域に温もりを広げるきっかけになることを教えてください。次号 (Vol.225 / 1月号) では、ふくぎ苑の施設長の経験を通して、また別のかたちの“地域福祉”をご紹介します。

ディズニーに学ぶ！ 魅力ある職場づくりセミナー開催！

県社協では7月25日(金)、介護・福祉の現場で働く職員を対象に、職員が楽しく働けるマインドや、仲間と協力してサービスの質を高めるサイクルの習得を目指し、人材育成研修「～ディズニーに学ぶ！魅力ある職場づくりセミナー～」を開催、91名が参加しました。

講師には株式会社 MaiWay の川崎真衣氏をお迎えし、ディズニーのキャストの実践をもとに、職員が楽しく働くためのマインドセットや、協力して職場をより良くするための工夫を、具体的な事例を交えてわかりやすくご紹介いただきました。

参加者からは「介護現場にも応用できるとは思わなかった」「慣れによる怠慢を避けたいと心に誓った」「具体例が豊富でわかりやすかった」といった声が寄せられ、悪天候にもかかわらず定員を超える盛況ぶりとなりました。

職員が前向きに働ける環境づくりが、利用者へのサービス向上につながる——そんな好循環のヒントが詰まった、実りあるセミナーとなりました。



福祉のしごと求人事業所応援セミナー

～ 求人PRの効果的なポイントと手法を学ぶ ～

沖縄県社協福祉人材研修センターでは、9月22日「採用市場の動向からみる福祉業界の採用トレンド」と題して、人材コンサルタントの神野達郎氏をお招きし、「福祉のしごと求人事業所応援セミナー」を開催いたしました。

神野氏からは、採用の基本である求人票を見直してることが重要として、求人項目の中でも①仕事内容②給与③写真の項目を意識するだけで、求職者が魅力的な求人と感じる効果が生まれ、訴求力が各段に上がるとして、具体例を示しながら分かりやすくご説明いただきました。また、生成AIを「頼れる相棒」として捉え、求人活動に活かすための効果的なポイントについても解説いただきました。参加者からは、「求人票を見直すポイントが分かった」「実践的なセミナーでとても参考になった」等の声が寄せられ、各法人の採用戦略を考える機会になりました。



福祉のしごと就職フェアの開催案内！

北部地区 11月28日(金) 12:30～15:00 名護市民会館中ホール

中部地区 12月5日(金) 12:20～16:00 うるま市生涯学習文化振興センターゆらてく

※詳しくは県福祉人材研修センターまで(098-882-5703)



児童養護施設退所者等自立支援資金のご紹介

県社協では、児童養護施設等に入所中または里親等に委託中及び、児童養護施設等を退所または里親等の委託が解除された方に対し、自立した生活を支援することを目的に貸付制度を実施しています。貸付後、一定期間の就業を継続した場合には、申請によって返還が免除となります。

貸付には以下の資金種類があります

資金種類	生活支援費	家賃支援費	資格取得費
対象となる方	施設等を退所後5年未満で大学等へ進学する方	施設等を退所後5年未満で大学等へ進学する方、または就職する方	施設等に入所中または退所された方で就職に必要な資格を取得する方
貸付額及び貸付期間	50,000円(月額) 大学等に在学する期間	32,000円(月額) 大学等に在学する期間または就労期間のうち2年間	250,000円 1回限りの貸付です
返還免除の要件	大学等を卒業後、5年間就業	大学等を卒業後、5年間就業または、就職時に借りた方は借入時から5年間就業	大学等を卒業後、2年間就業または、就職により借りた方は借入時から2年間就業

※免除に係る就業は1週間の所定労働時間が20時間以上とする。

平成28年度からスタートした当該事業ですが、令和7年8月末時点で150名近くの方が312件の貸付を利用しており、現在在学中の方や大学を卒業して就職している方等、多くの方々の自立に向けた支援に繋がっています。

※平成28年度～令和7年8月末時点での貸付決定件数は下記のとおりです。
内、令和2年度～4年度までコロナによる貸付の拡充を行ったため、就職者にも生活支援費の貸付がありました。

貸付決定件数					
	進学者		就職者		資格取得費
	生活支援費	家賃支援費	生活支援費	家賃支援費	
H28年度	5	4			2
H29年度	14	6			14
H30年度	14	7		1	5
R元年度	10	5		2	6
R2年度	22	6	1	2	6
R3年度	23	10	1	3	11
R4年度	18	17		1	7
R5年度	10	7		2	21
R6年度	13	9		1	10
R7年度	6	5		2	3
合計	135	76	2	14	85

貸付総合計 312件

貸付中の児童は、4ヶ月に1回(年3回)現況報告書を県社協へ提出いただくことで、それぞれの状況を確認させていただくとともに、就職した児童に関しては、就業届の提出や業務従事届の提出を依頼しています。

児童養護施設を退所しても、多くの支援機関が引き続き児童に関わり続けながら、サポートできる体制づくりが今後も重要だと考えます。

貸付を利用した子ども達の声



Aさん

私は中学生の頃から看護師になることが夢でした。看護大学へ進学したいと考えていましたが、資金面で大学への進学は難しいと思っていました。しかし、この貸付が利用できました。大学生活は実習や国家試験など大変なこともありましたが、この貸付があったことでアルバイトをセーブして勉強に専念することができ、おかげさまで看護師になり夢だった仕事をするのが出来ました。

今はいろんな支援があり、将来の夢を金銭面で諦めることなく、またお金を稼ぐために遠回りをするのではなく夢を叶えることができありがたいです。同じような境遇の子たちにも夢に向かって頑張ってほしいです。

福祉サービスに関する苦情解決セミナー 受講者募集中

社会福祉法において、社会福祉事業の経営者は、常にその提供する福祉サービスにおいて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならないものとされています。

本セミナーは、苦情対応における接遇のポイントについて理解を深めるとともに、苦情対応に必要な知識（利用者等との信頼関係の構築や、苦情解決体制の整備、第三者委員の役割等）について学び、福祉サービスの質の向上を図ることを目的に開催します。

福祉サービス提供者の皆様！
こんなことでお悩みではありませんか？

- ➡苦情を受けた時どのような対応をすべきか分からない。
- ➡なんとなく苦情が増えた気がする。
- ➡苦情解決体制を整えたいけど、どうしたらいいか分からない。
- ➡第三者委員の役割ってなに？



高齢・児童分野

12/2(火)

障害分野、その他

12/11(木)

会 場 沖縄県総合福祉センター東棟1階 ゆいホール ※両日ともに同会場

参加費 (会員の場合) 1名1回の受講につき、4,400円
(非会員の場合) 1名1回の受講につき、8,800円

講 演 「福祉サービス提供施設・事業所における苦情にならない為の接遇」
大山美智代 氏 (オー・アンド・オー コミュニケーション 代表)
「苦情対応に求められる知識と第三者委員の役割について」
竹藤登 氏 (沖縄県福祉サービス運営適正化委員会 委員長)

【お申込み方法および注意点】「沖縄県社会福祉協議会」のホームページ内にある「研修会・大会等」にアクセスし、開催要項をご一読のうえ、お申し込みください。

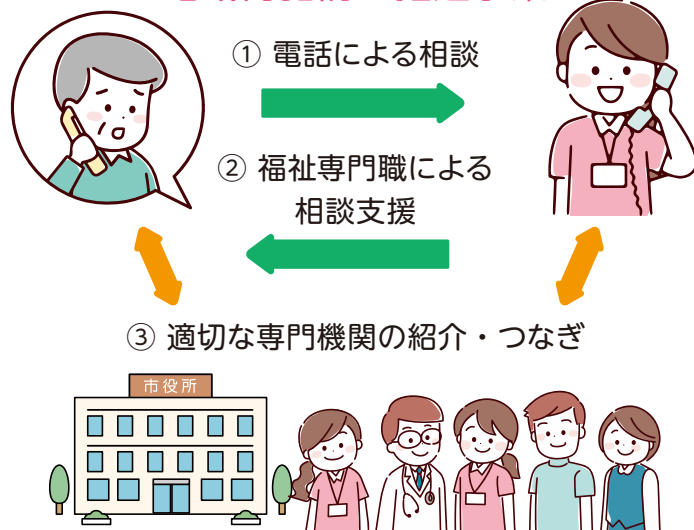
お問い合わせ：沖縄県福祉サービス運営適正化委員会事務局 TEL：098-882-5704

罪をした方やそのご家族等からの 地域生活に関する電話相談

地域再犯防止推進事業における相談支援

犯罪をしたご本人やご家族、支援者から地域生活を送るなかでの生活に関するお悩みや困りごとについての相談を受け付けています。相談内容に応じて、アドバイスや専門支援機関の紹介、関係機関へおつなぎします。

地域再犯防止推進事業



※地域再犯防止推進事業は、沖縄県より委託を受けて実施しています。

事業目的

地域における再犯防止の取組みを進めるため、犯罪をした方やその家族、支援者からの相談に応じ、アドバイスや専門機関の紹介を行います。

対象となる方

犯罪をした方やそのご家族、支援者
(沖縄県に在住している方、沖縄県への帰住を予定している方)

電話相談

月曜日～金曜日(祝祭日・年末年始を除く)
9時から17時まで

TEL. 098-884-2800

沖縄県社会福祉協議会・地域生活定着支援センター
那覇市首里石嶺町4-373-1 県総合福祉センター東棟2階

沖縄県社会福祉協議会

かりゆし長寿大学校 大運動会 開催！



沖縄県かりゆし長寿大学校では、去る8月30日、県立武道館アリーナ棟にて『第32回 沖縄県かりゆし長寿大学校大運動会』を開催しました。会場には、応援に駆けつけた学生のご家族や、かりゆし長寿大学校同窓会等の関係者も集まり、笑顔と熱気に包まれた1日となりました。

選手入場で幕を開けた運動会。開会式では、地域文化学科火曜日コースの花城須江子さんと生活環境学科木曜日コースの新垣新勝さんが力強く選手宣誓を行いました。午前の部では、準備体操から始まり、スプーンレースや四種競技(パン食い競争・尻圧測定(風船割り)・ドリブルシュート競技・担架ボール運び)など、ユニークで楽しい競技が続きました。午後の部では、学科対抗の応援合戦「学科アピール隊」でスタート。各学科、趣向を凝らした応援とダンスで盛り上がり、続いてオクラホマミキサーや山本リンダの楽曲に合わせたフォークダンスで会場は一体となりました。最後は、学科対抗選抜リレーで白熱の勝負が繰り広げられ、運動会のフィナーレを飾りました。

今回の運動会でも、沖縄大学の学生ボランティアが運営や応援で大活躍し、参加者との交流を通じて、世代を超えた絆が生まれました。



沖縄ねんりんピック(スポーツ交流大会・文化交流大会) 総合開会式を実施しました



県内高齢者のスポーツ・文化の祭典「第16回 沖縄ねんりんピック(スポーツ交流大会・文化交流大会)」(主催:沖縄県、(福)沖縄県社協)の総合開会式を、9月13日に県立武道館・アリーナ棟にて開催しました。各交流大会は、先行開催を含め11月まで県内各地で行われます。上位入賞者(チーム)は来年開催される「第38回全国健康福祉祭埼玉大会(ねんりんピック彩の国さいたま2026)」への派遣選考の対象となり、沖縄県代表として全国の派遣選手と交流します。

第16回 沖縄ねんりんピックかりゆし美術展のご案内

沖縄ねんりんピックかりゆし美術展(主催:沖縄県、(福)沖縄県社協)を、浦添市美術館で開催します。「第38回全国健康福祉祭埼玉大会」への作品選考を兼ねた、59歳以上のアマチュア創作者による展示会です。豊かな感性が光る作品を、ぜひ会場でご覧ください。

展示期間 令和7年12月2日(火)～6日(土) 9時30分～17時(最終入館16時30分)

展示会場 浦添市美術館

入場料 無料 どなたでもお気軽にお越しください

■ お問い合わせ先 ■ 沖縄県社会福祉協議会・いきいき長寿センター TEL098-887-1344

宮古島市連絡会パニパニ☆ミーティング 2025

宮古島に合ったネットワークづくりへ 志気高まる

県社協では 8 月22日、市保健センターにて「宮古島市連絡会 “パニパニ☆ミーティング 2025”」を宮古島市と共催で開催しました。会場には、居場所運営者や中間支援団体等、約 20 名の関係者が集い、こどもの居場所の現状について共有し、宮古ならではのネットワークのあり方について語り合いました。

この中で、宮古島こどもこそだてワクワク未来会議の友利理志氏から、居場所訪問や関係者との関わりから見てきた宮古島の居場所の状況について報告があり、こども達が様々な人と関わりながら安心して過ごせる居場所の重要性を確認しました。

活動報告では、八重山こども食堂ネットワークの金城球二氏が登壇し、八重山地域におけるネットワーク設立の経緯や取り組みが紹介されました。金城氏は、自身の経験をもとに「ネットワーク構築が必要だと感じた人が、できることから動き出すことが大切」と語り、無理なく楽しく取り組むよう参加者にエールを送りました。

県社協が運営する県こどもの居場所ネットワークでは市町村・圏域ネットワーク（連絡会）構築に向けた支援を行っています。



▲宮古島こどもこそだて
ワクワク未来会議・友利氏



▲八重山こども食堂
ネットワーク・金城氏



▲連絡会参加者



THANKS(サンクス)運動 県民福祉講演会

「地域の人々が明るいネットワークを築き支え合う社会」の実現に向け、地域でできることを一緒に考え、県民の社会的孤立の解消・防止に向けた機運を高めることを目的に、下記の日程で講演会を開催します。

講師には、県内で幅広く活躍されているタレントの 津波 信一 氏 をお迎えします。「笑いを通じて地域の支え合いを考える」ことをテーマに、ユーモアあふれるお話を通じて、支え合いの大切さやつながりの力について楽しく学べる講演会です。孤立をなくし、誰もが安心して暮らせる地域づくりの第一歩として、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



日時	令和 7 年 11 月 21 日(金) 14:00 ~ 16:15 (受付 13:30 ~)
会場	沖縄県総合福祉センター 1 階 ゆいほーる
講師	津波 信一氏 (ローカルタレント)
対象	福祉関係者、教育関係者、民生委員児童委員、一般県民、関心のある方
定員	200 名
参加費	無料

【お申込み】

本会ホームページの研修会・大会等にアクセス、または右記の QR コードを読み取りください。
※申込メ切：令和 7 年 11 月 7 日(金)17 時まで

お問い合わせ：沖縄県社会福祉協議会・地域福祉部 TEL：098-887-2000



私たち「新人職員」です！

沖縄県社協の 職員紹介

沖縄県社協では、本年度新たに 2 名の職員が仲間入りしました。皆様よろしくお願ひいたします！！



津嘉山まどかさん
(地域福祉部)
令和 7 年 7 月採用

1. 県社協への入職を希望した理由

前職では行政福祉に携わる中で、制度の狭間にある課題や潜在的な福祉ニーズへの対応の難しさを実感しました。そうした経験から、より地域に根ざした取り組みを行える県社協で地域福祉に関わり、沖縄県全体の課題解決や福祉向上に貢献したいと考え、入職を希望いたしました。

2. 現在の仕事の内容

現在は地域における社会的孤立の解消・防止を目的とした県民運動「THANKS(サンクス)運動」の推進事業を担当しています。企業や県民を対象とした講演会・セミナーの開催を通じて、運動の理解促進を図るほか、基金を活用した助成事業の運営や企業との連携強化に取り組み、より多くの県民が参画できる仕組みづくりを進めています。

3. 仕事をするうえで大切にしていること

事業の目的や内容をしっかりと理解したうえで、一つひとつの業務に丁寧かつ正確に取り組むことを大切にしています。また、一人で抱え込まず、周囲に相談しながら柔軟に対応できるように努めています。

4. 今後の抱負(一言メッセージ)

県社協の役割を果たしつつ、市町村社協と協働・連携し、一人でも多くの住民が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献していきたいです。

1. 県社協への入職を希望した理由

沖縄県社協は様々な関係機関と連携し、地域のつながりづくりの推進主体として活動しており、地域社会に支え合いの文化を形成するなど、社会や人々の価値観に前向きな変化をもたらす影響が大きいことに魅力を感じ、入職を希望いたしました。

2. 現在の仕事の内容

生活福祉資金の貸付業務を担当し、市町村社協をはじめ、福祉事務所など様々な関係者と連携しながら相談者世帯の自立に向けて業務を行っています。

3. 仕事をするうえで大切にしていること

業務の優先順位をつけることを意識しています。まだ不慣れなところが多いですが、ため込みそうになったら周りの方々に助言をいただきながら一つ一つこなせるようにしていきたいです。

4. 今後の抱負(一言メッセージ)

一日一日を大切に、地域福祉に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いします。



島袋全順さん
(民生部)
令和 7 年 7 月採用

令和7年度
社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険 検索

老人福祉施設、
障害者支援施設、
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します！

◆加入対象は、社協の会員である
社会福祉法人等が運営する社会
福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

基本補償(賠償・見舞)		
▶保険金額		
身体賠償(1名・1事故)	基本補償(A型) 2億円・10億円	見舞費用付補償(B型) 2億円・10億円
財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)		
定 員	基本補償(A型)	基本補償(B型)
1~50名	35,000~61,460円	
51~100名	68,270~97,000円	
100名以降1名~10名増ごとに	1,500円	
基本補償(A型) 保険料	+	
	【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円	

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定葬行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(S324-11108 より抜粋)

令和7年度 共同募金運動が始まりました！

助成テーマ「つながりをたやさない社会づくり ～あなたは一人じゃない～」

令和7年10月1日～令和8年3月31日



「赤い羽根空の第一便伝達式」 「美ら島便伝達式」を開催

10月1日にANAグループのご協力により沖縄県庁ロビーで「赤い羽根空の第一便伝達式」、日本トランスオーシャン航空(株)のご協力により石垣市と宮古島市で「赤い羽根空の美ら島便伝達式」を実施しました。「空の第一便伝達式」では、厚生労働大臣および中央共同募金会会長のメッセージが、また「美ら島便伝達式」では、沖縄県知事のメッセージと赤い羽根が届けられ、共同募金運動への関心を高める機運を作りだしています。

伝達を受けた沖縄県共同募金会湧川昌秀会長からは、「赤い羽根に込められた思いが、沖縄のすべての地域に広がっていくことを願っています」と挨拶がありました。

また、第一号法人大口募金として沖縄県金融協会様から100万円の贈呈も行われました。

セレモニーの後には、パレット久茂地前周辺で街頭募金を実施し、募金の呼びかけを行いました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。これから6カ月間募金運動を実施しますので、皆様の温かいご支援をよろしくお願いします。



▲客室乗務員からメッセージの伝達の様子



▲第一号大口募金贈呈式の様子



▲街頭募金の様子

令和7年度中央競馬馬主社会福祉財団 助成金決定のお知らせ

この助成金は、中央競馬の馬主間で社会福祉に貢献したいという機運と、競馬に対する認識を高めることを目的に、競馬賞金の一部を拠出し助成事業を行っています。

団体名	助成金額
1 (福)中陽福祉会	1,200,000円
2 (福)たまん福祉会	1,330,000円
3 (福)南城福祉会	1,110,000円
4 (福)久仙会	1,140,000円
5 (特非)すこやかネット	1,050,000円
6 (特非)Peace	940,000円
合計	6,770,000円

歳末たすけあい募金運動の実施 期間：12月1日～31日

歳末たすけあい募金は、共同募金の一環として新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人々が安心して暮らすことができるよう実施している募金です。

市町村共同募金委員会へ寄せられた募金は、市町村社協を通じて要援護世帯への配分や地域の福祉活動費に充てられ、沖縄県共同募金会へ寄せられた募金は、小規模離島町村の要援護世帯への助成や、緊急の世帯への食料支援、児童養護施設入所児童の進学・就職のための自立生活費として配分されます。



「Pay Pay」でオンライン・オフライン寄付ができるようになりました！！

キャッシュレス決済が普及する中、共同募金会では、PayPay 株式会社が提供するキャッシュレス決済サービス「PayPay」を導入し、手軽にご寄付いただけるようになりました。

「オンライン」寄付は、ウェブサイトよりスマホやパソコンを使って寄付できますが、「オフライン」寄付では、沖縄県共同募金会や市町村共同募金委員会の窓口や街頭募金等でご協力の呼びかけの際に表示しているQRコードをスマホの PayPay アプリで読み込んで行えます。(本人確認済の PayPay 限定)

お金を取り出さずにスマホだけで寄付が完了し、手続きが非常に簡単で便利です。詳しくは、沖縄県共同募金会までお問合せください。

「オンライン」寄付と
「オフライン」寄付の
違いって何??



オンライン 寄付の流れ

スマホからも、
募金できます！



①QRコード読み込み後、
上記画面に遷移。
寄付額を選択

②寄付先、使い道を
指定し次の画面へ

③「PayPay」を選択。
その他の
支払い方法も選択可

その他必要事項入力。
(領収書の宛名や
メールアドレスなど)

オンライン寄付の場合

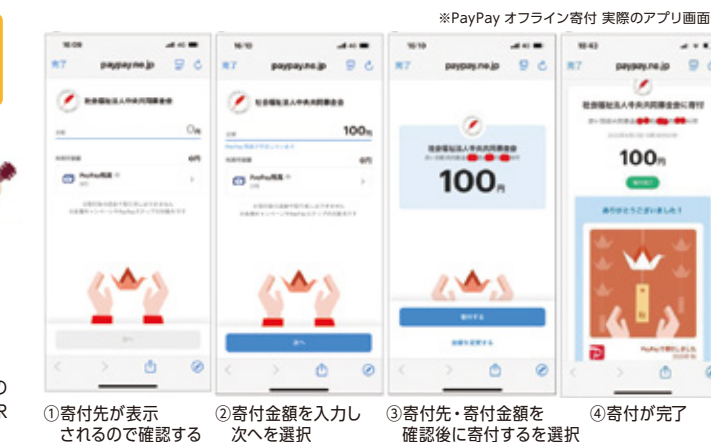
- 1回あたり (※1日何回でも可)
- ①記名寄付：500円以上～30万円以下
※領収書発行可能
- ②匿名寄付：100円以上～1万円以下
※領収書発行不可能

オフライン 寄付の流れ

スマホからも、
募金できます。



PayPayアプリを開く
市町村共同募金委員会の
窓口などに置かれたQR
コードを読み取ります



①寄付先が表示
されるので確認する

②寄付金額を入力し
次へを選択

③寄付先・寄付金額を
確認後に寄付するを選択

④寄付が完了

オフライン寄付の場合

- 1円以上～
- 過去24時間最大30万円
- 過去30時間最大100万円
- ※領収書発行不可能



PayPayでご寄付いただけます
※匿名寄付も可能です

<PayPayによるご寄付の注意点>

※PayPay 残高 (PayPay マネーと PayPay クレジット) のみ利用可能です。PayPay マネーライト、「PayPay ポイント」は利用できません。
※「PayPay マネー」は、本人確認後に銀行口座やセブン銀行 ATM、ローソン銀行 ATM、Yahoo!フリマ・Yahoo!オークションの売上金を利用してチャージした PayPay 残高です。
※寄付金額に対しての「PayPay ポイント」の付与および PayPay ステップは対象外となります。
※「PayPay」で利用できるのは「今回のみ寄付」(単発寄付)のみです。毎月の継続寄付には、現時点で「PayPay」は利用できません。

災害義援金募集のお知らせ

令和7年7月27日から28日にかけて大東島地方に襲来した台風8号によって家屋等への浸水など多大な被害が発生し、被災された方々を支援することを目的に義援金を募集しております。令和7年12月28日まで募集を行っておりますので、ご協力をお願いいたします。振込先については、本会のホームページをご覧ください。

【お問合せ先】

沖縄県共同募金会

那覇市首里石嶺町4-373-1

TEL (098) 882-4353

FAX (098) 882-4270

<https://www.okishakyo.or.jp/kyoubo/>

